

ふね遺産 第1回 応募案件－22

「ふね遺産」(応募様式): 恵美須ヶ鼻造船所跡

平成28年12月5日提出 氏名: 小松 武邦  
 所属: 正会員 西部支部  
 メールアドレス: takekuni.komatsu@nifty.com  
 その他の連絡先: 083-222-3591

	内容	備考
1. 対象物・資料の名称・所属または所有者	恵美須ヶ鼻造船所跡 カジ場(鍛冶場),大工居屋、綱製作木屋、スクーネル打建木屋(ドック)等建屋跡 および防波堤 一式	平成19年(2007年)近代化産業遺産(経済産業省)に認定 平成25年(2013年)国の史跡へ指定 平成27年(2015年)世界遺産へ登録 明治日本の産業革命遺産・製鉄・製鋼・造船・石炭産業として
2. 対象物の作成・存在時期	1856年(安政3年) 開設 1860年(万延元年) まで存在	1856年(安政3年) 丙辰丸 1860年(万延元年) 庚申丸を建造
3. 現状(写真添付)		各工事木屋跡地と防波堤が残存中
4. ふね遺産認定基準の該当項目	(認定対象) (2),(4) (認定基準) (4),(6),(12)	同じ造船所内でロシアの造船技術による丙辰丸トオランダの技術による庚申丸を建造した唯一の造船所 近代造船技術の導入期を知る貴重な遺産である点を評価された
5. 歴史的・工学技術的意義	丙辰丸等に使用された鉄は造船所の近郊にある大板山たたら製鉄遺跡(同時に世界遺産に登録済み)で作られた たたら製鉄が使用されており洋式技術と日本技術がくみ合された稀有な事例である。	
6. 参考資料・文献(本表に収まらない場合は別途添付する)	思文閣出版(1998年) 小川亜弥子 幕末期長州藩洋学史の研究 洋式軍艦の建造	萩市作成 世界遺産登録への作成資料等も入手の要あり。